

事務事業名称	災害時要援護者避難支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができていくまち									
	実行計画名	1-1.防災体制の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	災害が発生したときに、自力で避難指定場所まで避難することが困難な高齢者、および身体障害、知的障害、精神障害がある方で、ひとり暮らしの方、同居している方も支援が必要な高齢者や障害者の方、同居している方が就労等のために避難支援が難しい方。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	災害時に自力で避難することが困難である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害時の逃げ遅れ等の2次被害を防ぎ、災害時要配慮者の安全を確保する。				
事業概要	災害が発生した場合、自力で避難指定場所まで避難することが困難な高齢者や障害者等の逃げ遅れの防止を行う。 手上げ方式で要援護者の申請を受け付け。 民生委員に要援護者情報を提供し、地域の自助・共助のもと、避難支援者の設定を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	災害時の逃げ遅れ等を防ぐ体制が構築される。	災害時要援護者が登録をするともに、民生委員に要援護者情報を提供し、地域の自助・共助のもと、避難支援者の設定を行う。				手上げ方式で要援護者の申請を受け付ける。							
指標設定	指標説明	災害時要援護者登録人数のうち、避難支援者が設定されている割合【算出式:避難支援者が設定されている人数/全登録者数】				避難支援者設定人数				災害時要援護者制度登録者数			
		単位		%	単位		人	単位		人	単位		人
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	420	420	420	420	1,300	1,300	1,300	1,300
達成度	42.44	41.96	49.07		494	420	453		1,164	1,001	923		
	49%				108%				71%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.35
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	3,270	1,493	2,734		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,270	1,493	2,734		
	物件費計	9,903	6,542	6,983	7,030	99.3%
歳出計		13,173	8,035	9,717		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		9,903	6,542	6,983	7,030	

5. 総括的分析

総括的分析	災害時要援護者避難支援事業への登録者のうち、全ての人に避難支援者が設定されている状態が理想であるが、地域の実情を踏まえると非常に困難である。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	災害時要援護者避難支援事業における災害時要援護者情報のリストについては、これまでに枚方市独自の取り組みとして手上げ方式で要援護者の申請を受付していたが、平成25年度の災害対策基本法の改正により、各自治体での作成が義務付けられている避難行動要支援者名簿との統合が必要であることから、事業内容の見直しを進める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 044

事務事業名称	災害医療対策関係事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	2.災害時に、迅速・的確に対応できるまち									
	実行計画名	2-1.災害時の応急処置活動の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2011(H23)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	災害対策基本法、新型インフルエンザ等対策特別措置法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	災害及び新型インフルエンザ等の発生により被害を受ける恐れのある市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	災害及び新型インフルエンザ等が発生した場合、市民の生命・身体等に被害を被るおそれがある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	災害発生時には迅速に適切な医療救護活動を、新型インフルエンザ等発生時には蔓延防止措置や罹患時の適切な処置を行い、市民の生命や身体を保護することにより、安全安心な生活を確保する。				
事業概要	枚方市災害医療対策会議等の開催及び災害医療訓練の実施等、関係機関との相互連携を強化する。新型インフルエンザ等対策については、「枚方市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づき対策を講じる。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	災害医療体制が充実する。				アウトプット (活動結果)	関係機関との相互連携を強化する。				インプット (活動)	災害医療対策に関する取り組みを行う。			
	指標説明	災害医療訓練アンケート提出者のうち、枚方市災害医療体制について理解した人の割合【算出式:枚方市災害医療体制について理解した人/アンケート提出者×100】				災害医療訓練の関係機関からの参加者数				災害医療訓練の実施回数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	80	80	80	80	30	30	30	30	1	1	1	1		
	実績	0	0	0		0	0	0		0	0	0			
	達成度	0%				0%				0%					
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	災害医療体制が充実する。				アウトプット (活動結果)	新型インフルエンザ対策に対する職員の理解や情報の共有が図られる。				インプット (活動)	新型インフルエンザ対策に関する取り組みを実施する。			
	指標説明	災害医療訓練アンケート提出者のうち、枚方市災害医療体制について理解した人の割合【算出式:枚方市災害医療体制について理解した人/アンケート提出者×100】				全体研修対象者の参加割合				全体研修の実施回数					
指標設定②	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	80	80	80	80	100	100	100	100	1	1	1	1		
	実績	0	0	0		0	0	0		0	0	0			
	達成度	0%				0%				0%					

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.78
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	0	4,478	6,093		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	4,478	6,093		
	物件費計	688	5,595	2,577	3,313	77.8%
	歳出計	688	10,073	8,670		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	5,167	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	5,167	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	688	428	2,577	3,313		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症により、連携訓練には至らなかったが、部内での研修は実施。また災害医療対策会議を開催し、令和4年度の各病院の訓練状況や保健医療調整本部活動マニュアルについて共有し、令和5年度に向けた訓練について報告した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	災害時における医療救護体制の強化を図るため、継続して災害医療対策会議により災害医療等を検討するとともに、拠点応急救護所設営訓練等を行っていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 104

事務事業名称	総合福祉会館維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1998(H10)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立総合福祉会館条例及び同施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	福祉活動を行う市民・団体など、総合福祉会館の利用者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	福祉活動や市民交流の輪を広げる場が必要			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者・障害者などの福祉サービスが充実する。また、活動の場を提供することにより、福祉活動が促進される。				
事業概要	有料貸室の貸出・福祉情報制作室(点訳やビデオの字幕入力)・温水プールの運営など。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						総合福祉会館が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等が行われる。				
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検回数				
	指標種類					単位				%				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					100以内	100以内	100以内	100以内	97	97	97	97
	達成度									0%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.75
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	9,171	5,264	5,859		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,171	5,264	5,859		
	物件費計	239,595	199,536	230,536	254,029	90.8%
歳出計		257,266	204,800	236,395		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	9,661	10,376	13,306	14,362	
	市債	14,500	0	41,500	51,000	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	20,830	10,376	54,806	65,362	
一般財源（物件費に充当されるもの）		227,265	189,160	175,730	188,667	

5. 総括的分析

総括的分析	指定管理者制度により、会館の維持管理業務、貸室業務、温水プールの運営、各種福祉講座を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き適正な会館管理を行い、福祉活動の場を提供していく。

事務事業名称	健康医療都市ひらかた推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2012(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	事業に参加する市民			
	サブターゲット	健康医療都市ひらかたコンソーシアムを構成する市内の医療機関や医療系大学、関係団体			
	ターゲットが抱える課題	自ら健康増進を図る知識や機会を得る効果的なすべが少ない。			
	ターゲットが抱える課題	各団体がそれぞれの事業効果を高める必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	健康・医療に関わる各関係機関が密接に連携し、顔の見える関係性を構築することで、様々な連携事業による市民の健康増進や医療体制の強化につなげる。				
事業概要	<p>平成24年8月に設立した「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する構成団体 14団体と連携団体 2団体を中心に、社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流、健康医療に関する情報発信等を行う。コンソーシアムにおける連携事業としては、以下の事業を想定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害医療対策のための連携事業 ・地域完結型医療実現のための連携事業 ・こころの健康増進のための連携事業 ・健康づくり・介護予防事業推進のための連携事業 ・母と子どもの健康支援のための連携事業 ・健康・医療アカデミー創設による連携事業 ・健康・医療関連の地域振興・まちづくりのための連携事業 ・健康・医療に関する情報発信のための連携事業 <p>【構成団体】14団体 枚方市、枚方市保健所、枚方市医師会、枚方市歯科医師会、枚方市薬剤師会、関西医科大学、大阪歯科大学、摂南大学、関西医科大学附属病院、星ヶ丘医療センター、枚方公済病院、大阪精神医療センター、市立ひらかた病院、枚方市病院協会</p> <p>【連携団体】2団体 枚方市スポーツ協会、枚方寝屋川消防組合</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市民の健康増進が図られる。				アウトプット (活動結果)	連携事業に市民等が参加する。				インプット (活動)	「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業を実施する。			
	指標説明	事務局主催事業における参加者アンケートで、「健康に関する意識が高まった」と回答した人の割合 【算出式:健康に関する意識が高まったと回答した人/アンケート数×100】				連携事業への市民等の参加者数				連携事業としての講演会・研修等の実施回数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	達成度	121%				43%				70%					

3. 人員体制

	(人)
	R4実績
正職員	0.49
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,031	3,221	3,828		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,031	3,221	3,828		
	物件費計	0	50	50	690	7.2%
	歳出計	3,031	3,271	3,878		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	50	50	690	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大が、以前より落ち着き、多くの市民が参加する講演会・研修等が実施でき、令和3年度からは増加したものの、指標の達成度は大幅に下回る結果となっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する14団体を中心に、社会資源の共同利用や情報共有、人材の交流、健康医療に関する情報発信等を行うとともに、コンソーシアム参画団体の代表者が参加する代表者会議及び事務責任者が参加する事務レベル会議を開催する。また、構成団体が実施している各連携事業について、課題や取り組み状況を事務局として確認し、対応していく。

事務事業名称	生活支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-3.地域福祉の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	枚方市くらしの資金の貸付けに関する条例及び施行規則				
関係補助金名称			サンセット	~	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	低所得の一時的な生活困窮世帯等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	生活が一時的に困窮している			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	生活が安定し自立した生活を送ることができる				
事業概要	一時的な生活困窮世帯で、一定要件のもと必要な金額の貸し付けを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		対象者が安定した生活を送ることができる。				貸付を行うことで世帯が一時的な困窮から脱する。				生活が一時的に困窮している世帯からの相談を受け付ける。			
指標設定	指標説明	くらしの資金 償還率 【算出式: H30年度以降貸付分の返済額/H30年度以降貸付分で返済期日が到来している額×100】				貸付件数				相談件数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		70	71	72	73	10	10	10	10	200	200	200	200
	実績	73.23	76.70	80.99		3	0	0		41	19	10	
	達成度	112%				0%				5%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.02
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	479	550	156		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	479	550	156		
物件費計	0	0	0	0		
歳出計	479	550	156			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響や、社会福祉協議会による生活福祉資金の貸付制度の要件緩和により、くらしの資金貸付よりも申請要件等が簡素な緊急小口資金等の貸付に繋がるケースが多かったため、くらしの資金貸付及び相談は少ない傾向にあったと思われる。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務執行に努めるとともに、事業内容等の精査を行う。

事務事業名称	枚方市立総合福祉会館 福祉相談・福祉情報提供等事業													
測定年度	2022(R4)年度				部	健康福祉部				課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち												
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち												
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2021(R3)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市立総合福祉会館条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	地域における高齢者、障害者、低所得者など援護を要するあらゆる者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	悩みを聞いてほしい。どこに相談してよいかわからない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	福祉会館として福祉に関する相談並びに情報の収集及び提供を行い、傾聴・助言、専門相談機関の案内等を行うことで、市民が安心して生活を送ることができる。				
事業概要	枚方市立総合福祉会館の会館事業として指定管理業務であったものを、令和3年度から市が事業委託として実施するもの。 <委託期間>令和3年(2021年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで(3年間)				
	<p>(1)福祉相談業務</p> <p>①業務内容:枚方市立総合福祉会館に来館あるいは電話等で市民等から相談が入った際に、高齢者や障害者、子ども、低所得者等の幅広い相談を行い、助言等を行う。</p> <p>②相談対応時間:枚方市立総合福祉会館の開館日 9時～17時30分</p> <p>③1日における配置人数:常時1名以上</p> <p>④相談場所:枚方市立総合福祉会館 1階 相談室2</p> <p>⑤従事者資格要件:社会福祉士、介護福祉士もしくは福祉相談実務経験を2年以上有する者</p> <p>(2)福祉情報提供等業務</p> <p>①業務内容:枚方市立総合福祉会館4階福祉図書コーナーに来館された市民等に福祉に関する図書、ビデオ視聴の貸し出し等の受付業務の他、福祉図書の蔵書管理、福祉に関する情報の提供や検索を支援する。また、スタッフは障害者当事者としてピアカウンセリングを実施するとともに、必要に応じて、(1)福祉相談業務へ繋ぐこととする。</p> <p>②相談対応時間:枚方市立総合福祉会館の開館日 9時～17時30分</p> <p>③1日における配置人数:常時3名以上(内訳:障害者2名以上、事務補助員1名以上)</p> <p>④相談場所:枚方市立総合福祉会館 4階 福祉図書コーナー</p> <p>⑤従事者資格要件</p> <p>i)身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳のいずれかの交付を受けている者で、相談者の相談に対応できる者。</p> <p>ii)事務補助員:i)のスタッフを補助し、また、福祉に関する情報の提供や検索を支援し、高齢者や障害者等に配慮した対応ができる者(福祉関連の資格がない場合も可)。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	対象者の福祉相談窓口となり、問題解決に取り組むことで、安心して生活を送ることができる。				アウトプット (活動結果)	対象者が福祉に関する相談をする。				インプット (活動)	総合福祉会館に福祉相談窓口を設置する			
	指標説明	福祉相談件数のうち傾聴や関係機関の案内など適切に対応した件数の割合 【算出式:適切に対応した件数/福祉相談件数×100】				延べ相談件数				総合福祉会館開館日に福祉相談を行う					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	-	100	100	100	-	40	40	40	-	347	347	347		
	実績	-	100	100		-	11	20		-	291	347			
達成度	100%				50%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.11
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	864	859		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	864	859		
	物件費計	—	16,867	16,867	16,867	100.0%
歳出計	—	17,731	17,726			
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	—	16,867	16,867	16,867		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により閉室等があった昨年度と比較し、全日開室し相談件数も増加した。相談に対しては適切に対応できた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	福祉相談事業について市民に知ってもらうための広報等の取り組みを強化していく。

事務事業名称	重層的支援体制整備事業(健康福祉政策課)										
測定年度	2022(R4)年度		部	健康福祉部			課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	枚方市コミュニティソーシャルワーカー配置事業実施要綱 社会福祉法 第106条の4第2項【重層的支援体制整備事業分】				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、複雑化・複合化した課題を有する者またはその家族、親族等			
	サブターゲット	支援関係者			
	ターゲットが抱える課題	福祉に関するさまざまな相談をしたい。どこに相談すればよいのかわからない。			
	ターゲットが抱える課題	高齢、子ども、障害等の属性別の従来からの支援体制だけでは、複合課題や狭間のニーズへの対応が困難。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応できる包括的な支援体制を構築し、誰一人残さず、安心して生活を送ることができる。				
事業概要	<p>コミュニティソーシャルワーカーを配置し、重層的支援体制整備事業における居場所づくり支援や各分野事業者と協働した職業体験、当事者支援に関する取組などの参加支援事業を実施するとともに、地域の高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を要するあらゆる者又はその家族・親族等の支援を通じて、地域福祉の向上と自立生活支援のための基盤作りを行い、地域福祉の計画的な推進に資することで、健康福祉のセーフティネットの構築を図り、以下の活動を行う。</p> <p>○支援関係者と連携して、複合課題を抱えるケースへの対応を行うなどの重層的支援体制整備事業におけるアウトリーチ等継続的支援事業及び多機関協働事業。</p> <p>○校区福祉活動の企画・調整・コーディネートや要支援者への個別援助指導、グループ援助活動などの重層的支援体制整備事業における地域づくり支援事業。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
	対象者の相談窓口となり、問題解決に取り組むことで、安心して生活を送ることができる。	対象者が福祉に関する相談をする。				「いきいきネット相談支援センター」を設置する。							
指標設定	指標説明	相談を通じて問題解決につながったと感じている割合【算出式:対応完了件数/当該年度の新規相談件数+昨年度の継続件数】				延べ相談件数				「いきいきネット相談支援センター」設置箇所数			
		単位		%		単位		件		単位		箇所	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	-	100	100	-	-	12,217	13,732	-	-	5	5
	実績	-	-	87.40		-	-	6,168		-	-	2	
	達成度	87%				50%				40%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		対象者の相談窓口となり、問題解決に取り組むことで、安心して生活を送ることができる。				重層的支援会議及び支援会議での支援プランに基づき、支援関係者による連携支援を行う。				対象ケースについて、重層的支援会議及び支援会議を開催する。			
指標設定②	指標説明	相談を通じて問題解決につながったと感じている割合【算出式: 対応完了件数/当該年度の新規相談件数+昨年度の継続件数】				アウトリーチ等、対象ケースに係る支援・対応した件数				重層的支援会議及び支援会議において取り扱ったケース数			
		単位		%		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	-	-	100	100	-	-	180	240	-	-	36	48
	実績	-	-	87.40		-	-	150		-	-	73	
	達成度	87%				83%				203%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.87
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考) R4予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	6,796		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	6,797		
	物件費計	0	0	91,287	91,287	100.0%
	歳出計	0	0	98,084		
歳入	国庫支出金	0	0	47,842	47,000	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	47,842	47,000	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	0	0	43,445	44,287	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度においては、重層的支援体制整備事業が開始され、関係機関との連携体制が進んだことにより早期解決するケースが増加したため、相談回数自体は減少し、解決につながったと感じる割合が増加した。また、重層的支援会議及び支援会議の定例的な開催により多くのケースの課題解決に活用されたことにより、取扱ケース数が目標値を大きく超えた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、「重層的支援体制整備事業」による支援体制を活用し、各関係課・機関との連携の充実を図っていく。

事務事業名称	健康・医療・福祉フェスティバル開催事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1989(S64)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	事業に参加する市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	健康、医療、福祉について関心が低い(考える機会が少ない)市民が一定数いる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	より多くの市民が参加することで、健康、医療、福祉に対する意識が高揚し、自ら健康づくりを実践する気運が高まる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、枚方市の共催で「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催する。 ・フェスティバル開催に向け、5団体より選出された委員による実行委員会を開催し、準備を進める。 ・フェスティバルでは各団体が健康・医療・福祉をテーマに様々な催しを実施する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市民の健康・医療・福祉に対する意識が高まる。				アウトプット (活動結果)	「健康・医療・福祉フェスティバル」を開催する。				インプット (活動)	「健康・医療・福祉フェスティバル」実行委員会を開催する。			
	指標説明	健康・医療・福祉フェスティバル参加者アンケートで、「意識が高まった」と回答した人の割合				参加者数(延べ人数)				実行委員会の実施回数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	80	80	80	80	7,000	7,000	7,000	7,000	4	4	4	4		
	実績	0	0	0		0	0	0		0	0	3			
達成度	0%				0%				75%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.51
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	864	3,984		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	864	3,984		
	物件費計	28	42	177	2,000	8.9%
	歳出計	28	906	4,161		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	28	42	177	2,000	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、開催には至らなかったが、次年度の開催に向けて実行委員会を3回開催し、イベント内容等について検討を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後は感染症対策を行ったうえで健康・医療・福祉フェスティバルを開催し、市民の健康・医療・福祉に関する意識を高めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	ひらかた安心カプセル配付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2010(H22)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	安心カプセルの配付を希望する市民(65歳以上の方、障害者手帳を有する方、妊婦、一人暮らしの方、家族で住んでいるが日中は一人になる方)			
	サブターゲット	地域の民生委員・児童委員(元守り活動を通じて安心カプセルを配付していることから、地域に見守りが必要な人を把握できることや、対象者とのつながり強化に資するため)			
	ターゲットが抱える課題	安心カプセルの配付を希望する市民について、緊急搬送時に救急隊員が駆け付けた際に、自身の病気や緊急連絡先を明確に伝えることができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	緊急搬送時の対応に不安を持つすべての市民が、安心カプセルを所有する。				
事業概要	高齢者や障害者、一人住まいの市民等からの申請に応じて、ひらかた安心カプセル(救急医療情報キット)を配付する。なお、配付については、民生委員、枚方寝屋川CKD研究会に参加する市内の人工透析を行う病院・診療所及び枚方市医師会の協力医療機関を通じて行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)			
	緊急搬送時の対応に不安を持つすべての市民が、安心カプセルを所有する。	安心カプセルの配付を希望する市民に安心カプセルを配付する。	高齢者や障害者、一人住まいの市民等から申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明	安心カプセルの配付数(累計)	安心カプセルの配付数(当該年度)	配付窓口数(民生委員の委嘱者数及び配付協力医療機関数)		
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標		
	指標数値	単位: 個	単位: 個	単位: 箇所		
	目標(見込み)	R2: 9,505 R3: 10,065 R4: 10,625 R5: 11,185	R2: 560 R3: 560 R4: 560 R5: 560	R2: 586 R3: 586 R4: 586 R5: 586		
	実績	9,838 9,935 10,481	227 97 546	587 588 557		
達成度	99%		98%		95%	

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.08
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	399	393	625		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	399	393	625		
	物件費計	0	294	399	432	92.4%
	歳出計	399	687	1,024		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	294	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	294	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	399	432	

5. 総括的分析

総括的分析	民生委員による見守り活動の中で、希望者に対して順次配付するとともに、市内の協力医療機関を通じて希望者に配付している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による影響が少なかったことから、昨年度よりも大幅に配付数が増加した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、ひらかた安心カプセルの啓発・推進を図る。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 181

事務事業名称	公共施設・コンビニへのAED設置事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名	8-1.医療体制の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2015(H27)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁、協定書				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	突然の心停止に伴い、心肺蘇生(AEDの使用)を必要とする全ての市民			
	サブターゲット	市内公共施設及び24時間営業のコンビニエンスストア			
	ターゲットが抱える課題	突然の心停止に伴い、心肺蘇生(AEDの使用)を必要とする場合にAEDが無ければ、救命率が低下する。 公共施設は、休日や夜間は閉館しAEDを使用できないため、休日や夜間に発症した場合は、特に救命率が低下する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内公共施設や24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置することで、いつでもAEDを使用できる環境を整備する。				
事業概要	突然の心停止からの救命率向上について、AEDの有効性が実証されており、市では従来から本市公共施設に設置していた。しかし、夜間や休日はAED設置施設が閉館しているため、平成27年4月から24時間営業の市内コンビニエンスストアに協力を得て、常時AEDを設置できる環境を整備するもの。なお、コンビニエンスストアからの要望に応じて、AED講習会を枚方寝屋川消防組合と連携して行うもの。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		緊急時にAEDを使用できる環境整備。				AEDを適正に管理する。				公共施設へAEDを設置する。			
指標設定	指標説明	健康福祉総務課が設置・所管するAEDの正常作動率 【算出式: 正常に作動したAED台数/実際に使用したAED台数】				健康福祉総務課が設置・所管するAEDの適正管理台数				公共施設へのAED設置台数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	15	15	15	15	15	15	15	15
	実績	100	100	100		15	15	16		15	15	16	
達成度	100%				107%				107%				
ロジックモデル②		緊急時にAEDを使用できる環境整備。				AEDを適正に管理する。				市内24時間営業のコンビニへAEDを設置する。			
指標設定②	指標説明	健康福祉総務課が設置・所管するAEDの正常作動率 【算出式: 正常に作動したAED台数/実際に使用したAED台数】				コンビニ設置AEDの適正管理台数				市内24時間営業のコンビニAED設置台数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	90	90	90	90	90	90	90	90
	実績	100	100	100		96	94	95		96	94	95	
達成度	100%				106%				106%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.21
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	957	943	1,641		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	957	943	1,641		
物件費計	2,434	2,632	2,524	2,619	96.4%	
歳出計	3,391	3,575	4,165			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	2,434	2,632	2,524	2,619		

5. 総括的分析

総括的分析	設置しているAEDについて適正に管理を行い、常時AEDが使用できる環境を整備出来た。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、常時AEDが使用できる環境整備に取り組む。

事務事業名称	休日・土曜夜間急病診療事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名	8-1.医療体制の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	救急患者			
	サブターゲット	枚方市医師会			
	ターゲットが抱える課題	日曜日・祝日・年末年始や土曜日の夜間に病気を発症した場合、一般の診療所等は診療を行っていないため、受診することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日曜日・祝日・年末年始や土曜日の夜間に病気を発症した場合でも、内科診療を受診することができる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 診療科目は内科と小児科。 診療日時は日曜日、祝日、年末年始の午前10時～12時及び午後1時～5時、土曜日の午後6時～9時。 診療業務については、枚方市医師会に全面委託し実施する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民が安心して適切な医療が受けられるまちにつながる。				休日・土曜夜間に病気を発症した場合にも診療を受けることができる。				休日・土曜夜間に、内科及び小児科の診療を行う。			
指標設定	指標説明	患者の受け入れ率 【算出式: 受け入れ件数 / 患者数 × 100】				受診者数				年間診察日数			
		単位		%		単位		人		単位		日	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	5,500	5,500	5,500	5,500	122	123	122	122
達成度	100%				105%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.12
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,834	1,729	937		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,834	1,729	937		
	物件費計	36,347	62,925	62,925	63,124	99.7%
	歳出計	38,181	64,654	63,862		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	36,347	62,925	62,925	63,124	

5. 総括的分析

総括的分析	休日、土曜夜間の初期救急医療体制を確保することで、救急で来院した患者に対して、適切な医療を提供することができた。また、新型コロナウイルス感染症が少しずつ収まりを見せているなかで、患者数も増加傾向となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も継続して、実施する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	高度救命救急医療推進協議会負担金交付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名	8-1.医療体制の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的の事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	北河内北東部地域高度救命救急医療補助金交付要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	救急患者			
	サブターゲット	関西医科大学附属病院			
	ターゲットが抱える課題	重篤患者が迅速かつ適切な医療の提供を受けることができず、生命の危機に陥る可能性が高まる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	重篤患者に対して迅速かつ適切な医療を提供することで、患者の生命を守ることができる。				
事業概要	北河内北東部の高度救命救急体制を維持するため、関西医科大学附属病院に対して、枚方市、寝屋川市、交野市の3市による支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	北河内北東部の高度救命救急体制が維持される。				インプット (活動)	高度救命救急医療推進協議会が関西医科大学附属病院へ補助金を交付する。			
	指標説明					重篤患者の受け入れ人数					補助金交付率				
指標設定	指標種類					増加することが良いとされる指標					増加することが良いとされる指標				
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)					700	700	700	700	100	100	100	100		
	実績					922	830	841		100	100	100			
達成度					120%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.13
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	1,336	1,016		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	1,336	1,016		
	物件費計	10,601	10,601	10,601	10,601	100.0%
	歳出計	10,601	11,937	11,617		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	3,901	3,901	3,901	3,900	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,901	3,901	3,901	3,900	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	6,700	6,700	6,700	6,701	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については想定どおりであった。今後も引き続き高度救命救急体制の維持に努める。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も引き続き高度救命救急体制の維持に努める。

事務事業名称	二次救急医療負担金交付事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名	8-1.医療体制の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的業務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	北河内二次救急医療協議会規約				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	救急患者			
	サブターゲット	北河内医療圏内の二次救急医療機関(救急告示病院)			
	ターゲットが抱える課題	北河内医療圏内の二次救急医療体制を確保・維持できないと、救急患者が受診することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内医療圏内の二次救急医療体制を確保・維持することで、救急患者が受診することができる。				
事業概要	北河内7市の行政で「北河内二次救急医療協議会」を組織し、北河内医療圏内の二次救急医療に関する事務を共同で行う。 ①病院群輪番制病院運営事業補助 ②小児救急医療支援事業補助 ③北河内小児救急協力医療機関支援事業補助として、該当する医療機関に対して協議会から補助金を支出する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			北河内医療圏内の二次救急医療体制が確保・維持できる。				二次救急医療負担金を交付する。			
指標設定	指標説明		二次救急医療協議会補助金(病院群輪番制病院運営事業)の対象医療機関における年間開設日数				二次救急医療協議会補助金(病院群輪番制病院運営事業)の対象医療機関における交付割合			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)		365	365	365	366	100	100	100	100
	実績		365	365	365		100	100	100	
達成度			100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	0	5,264	3,125		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	5,264	3,125		
	物件費計	27,217	27,239	27,250	27,250	100.0%
歳出計		27,217	32,503	30,375		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	16,801	16,801	16,801	16,801	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	16,801	16,801	16,801	16,801	
一般財源（物件費に充当されるもの）		10,416	10,438	10,449	10,449	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については想定どおりであった。今後も引き続き二次救急医療体制の確保・維持に取り組む。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き二次救急医療体制の確保・維持に取り組む。

事務事業名称	北河内子ども夜間救急センター運営事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名	8-1.医療体制の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	1980(S55)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	北河内夜間救急センター設置条例、北河内夜間救急センター設置条例施行規則、北河内夜間救急センター協議会規約				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	救急患者			
	サブターゲット	北河内7市による協議会			
	ターゲットが抱える課題	夜間に病気を発症した場合、一般の診療所等は診療を行っていないため、受診することができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	北河内子ども夜間救急センターにおいて、夜間に小児科診療を受けられる。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 入院の必要がない軽症患者の小児科診療を行うため、北河内子ども夜間救急センターにおいて、一般の診療所等が診療を行っていない夜間に小児科診療(中学校3年生まで)を実施する。 北河内7市で協議会を設置し、北河内子ども夜間救急センター運営費を負担する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		夜間小児科診療が開設される。				北河内子ども夜間救急センター運営負担金を交付する。				
指標設定	指標説明	北河内子ども夜間救急センターの年間開設日数				負担金交付率				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					単位	日	単位	%
		実績					R2	R3	R4	R5
	達成度	100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.94
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	9,570	8,014	7,343		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,570	8,014	7,343		
	物件費計	130,373	147,415	140,972	145,206	97.1%
歳出計		139,943	155,429	148,315		
歳入	国庫支出金	0	407	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	533	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	33,563	64,141	63,548	67,782	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	31,667	64,548	63,548	67,782	
一般財源（物件費に充当されるもの）		98,706	82,867	77,424	77,424	

5. 総括的分析

総括的分析	北河内7市が連携して北河内子ども夜間救急センターの運営費を負担することで、年間365日夜間の小児救急医療体制を確保し、北河内子ども夜間救急センターを運営することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も北河内7市や医師会など関係機関が連携し、北河内子ども夜間救急センターの適正な運営を継続する。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	枚方市病院事業会計に対する負担金・補助金交付事業										
測定年度	2022(R4)年度		部	健康福祉部			課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方公営企業法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市立ひらかた病院			
	サブターゲット	市立ひらかた病院を利用する市民			
	ターゲットが抱える課題	市立ひらかた病院の安定的・継続的な経営			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市立ひらかた病院の経営健全化を促進し経営基盤を強化することで、市民が安心して適切な医療が受けられる。				
事業概要	・市立ひらかた病院の研究研修費や企業償還金、建設改良費などに要する経費について、地方公営企業法に基づき、一般会計から繰出しを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.04
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	0	314	312		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	314	312		
	物件費計	1,557,263	1,512,498	1,498,994	1,498,994	100.0%
歳出計		1,557,263	1,512,812	1,499,306		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,557,263	1,512,498	1,498,994	1,498,994	

5. 総括的分析

総括的分析	年2回、負担金の繰出しを行った。
-------	------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、必要な経費について一般会計より繰出しを行う。

事務事業実績測定調書

事務事業名称	医療通訳士登録派遣事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名	8-1.医療体制の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	日本語を話せない外国人住民等			
	サブターゲット	日本語を話せない外国人住民等を診察する医療機関			
	ターゲットが抱える課題	日本語が話せないことにより、適切な医療を受けられない。医療機関利用時におけるコミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスク			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日本語を話せない外国人住民等が安心して市内の医療機関を利用し、適切に医療を受けることができる。コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減した医療を提供できる。				
事業概要	日本語を話せない外国人住民等が、安心して市内の医療機関を利用できるとともに、コミュニケーションギャップに起因する医師の負担や診療上のリスクを軽減できるよう医療通訳士の養成と、医療機関への派遣を行う。 【医療通訳士登録派遣(平成31年3月31日現在)】 派遣開始時期:平成27年6月 対象言語:英語、中国語、韓国・朝鮮語の3カ国語 派遣対象機関:市内53の医療機関及び保健センター 派遣料金:無料 ※「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の連携事業として実施。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	日本語を話せない外国人住民等が安心して市内の医療機関を利用できる。				アウトプット (活動結果)	医療通訳士を医療機関へ派遣する。				インプット (活動)	医療通訳士の養成を行う。			
	指標説明	通訳士派遣依頼件数のうち派遣できた割合 【算出式:派遣件数/通訳士派遣依頼件数×100】				派遣件数	活動人数								
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	単位	%			単位	件			単位	人				
		目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		実績	95	95	95	95	500	500	500	500	14	14	14	14	
達成度	105%				67%				114%						

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.18
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	2,907	1,406		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	2,907	1,406		
	物件費計	1,870	3,724	3,692	3,612	102.2%
	歳出計	1,870	6,631	5,098		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	1,870	3,724	3,692	3,612	

5. 総括的分析

総括的分析	<p>新型コロナウイルス感染拡大以降、病院の患者数が大幅に減少し、医療通訳の利用件数も減少したが、同感染症を取り巻く生活意識や行動の変化を受けて病院の患者数が回復傾向にあることに伴い、医療通訳の利用件数も増加している。</p> <p>しかし、コロナ禍前に設定した目標と比較すると、派遣件数は大幅に目標を下回る結果となった。</p>
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大前は、医療通訳士の利用件数が想定以上に伸び、これ以上利用件数が増えると、病院へ医療通訳士を派遣する際の調整が困難となる状況であった。事業の効率化及び派遣調整の負担軽減を図るため、医療通訳士の個別派遣（現行）と、特に派遣件数が多い病院（1病院）の院内常駐（新規）との併用を令和2年1月から試行実施し、令和2年4月から本格実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、本格実施に至っていない状況である。今後の感染状況や派遣依頼件数を注視し、感染防止対策を講じたうえで派遣を行う必要がある。また、通訳士を安定的に派遣するため、通訳士の募集および養成を行う。</p>

事務事業名称	成年後見制度活用推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016(H28)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	老人福祉法、決裁				
関係補助金名称				サンセット	~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	成年後見制度を利用する人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	認知症や知的障害、精神障害などによって判断能力が不十分となり、契約等の締結や財産の管理ができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	成年後見に係る体制を整備することで、誰もが適切な支援を受け、地域で安心して生活することができる。				
事業概要	認知症、知的障害その他の精神上的の障害などがあることで、財産の管理や生活上の手続き等に支障がある方たちを、社会全体で支え合う重要な手段である成年後見制度の後見人について、専門職や社会福祉協議会以外で、本人と親族関係のない後見人の新たな担い手として、「一般市民」という立場で後見活動を行う「市民後見人」の養成及び育成を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民後見人バンク登録者が市民後見人として後見活動を行う。				市民後見人養成研修の修了生が、市民後見人バンクに登録する。				市民後見人養成研修を開催する。			
指標設定	指標説明	市民後見人の新規受任件数				市民後見人養成研修受講者のうち、バンク登録人数				市民後見人養成研修の参加人数			
		単位		人		単位		人		単位		人	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	1	2	2	2	4	4	4	4	5	5	5	5
	実績	0	3	1		3	4	8		3	5	9	
	達成度	50%				200%				180%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.37
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,859	5,107	2,890		
	会計年度任用職員	606	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,465	5,107	2,890		
	物件費計	5,122	1,565	1,645	1,645	100.0%
	歳出計	12,587	6,672	4,535		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	1,231	1,173	1,233	1,233	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,231	1,173	1,233	1,233	
一般財源（物件費に充当されるもの）		3,891	392	412	412	

5. 総括的分析

総括的分析	受任調整を行った1名について、市民後見人の受任が決定した。引き続き、市民後見人養成研修についての効果的な広報を行うことで受講者募集を行っていくとともに、スムーズな受任調整ができるよう体制を整えておくことが必要。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、市民後見人の養成・育成を行い、成年後見制度に係る体制整備を行う。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 254

事務事業名称	更生保護サポートセンター運営補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	3.暮らしに身近な安全が確保されたまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2013(H25)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方・交野地区更生保護サポートセンター支援補助金交付要綱				
関係補助金名称	更生保護サポートセンター運営補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	拠点があることによって充実した活動を行える保護司			
	サブターゲット	罪を犯した人			
	ターゲットが抱える課題	更生のためには本人の意思とともに周囲の協力が不可欠だが、刑期を終えて出所された方を受け止めるための受け皿が少ない。			
	ターゲットが抱える課題	更生させ、再犯を防止するためには、本人との面談等を通じた信頼関係の構築・居場所づくり・就職援助等、多岐にわたる課題があり、保護司がそれらの活動を安心かつ安全に行える拠点が必要。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	サポートセンターが、その場所を必要とする方に対して永続的に開かれ、今後もいっそう市の更生保護の推進に寄与すること。				
事業概要	地域における更生保護の活動拠点として、平成25年10月に設置された枚方・交野地区更生保護サポートセンターの運営を行う枚方・交野地区保護司会を支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	保護司活動を安心かつ安全に行うことができる。				アウトプット (活動結果)	更生保護サポートセンターを開所することができる。				インプット (活動)	更生保護サポートセンター運営補助金を交付する。			
	指標説明	センターにおける電話、来所等の対応件数				開所日数					補助金の交付金額				
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	245	245	245	245	245	245	245	245	911	911	911	911		
	実績	197	202	190		136.50	122	236		911	911	914			
	達成度	78%				96%				100%					

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.05
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	239	393	391		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	239	393	391		
	物件費計	291	260	911	914	99.7%
歳出計		530	653	1,302		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		291	260	911	914	

5. 総括的分析

総括的分析	更生保護サポートセンターの開所日数は目標指数に近く、前年度に比べてかなり増加した。その中で、アウトカム指数は前年度より減少し、目標指数には及ばなかった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	更生保護活動を円滑に実施するため、今後も引き続き支援を行う。

事務事業名称	骨髄バンクドナー支援事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2020(R2)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	骨髄バンクドナー		サンセット	2023(R5)年度	~ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	骨髄バンクドナーになっている、あるいはなる意志のある市民			
	サブターゲット	メインターゲットの市民が従事している			
	ターゲットが抱える課題	骨髄・末梢血幹細胞提供にあたり、平日の日中に複数回に渡って医療機関へ出向くことが必要であるため、負担が大きい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業の実施により、骨髄等の提供者及び骨髄バンクのドナー登録者が増える。				
事業概要	白血病などの血液疾患の治療に必要となる骨髄・末梢血幹細胞提供者(ドナー)は、提供にあたり、平日の日中に複数回に渡って医療施設に出向くことが必要であるため、ドナー及びドナーが従事している事業所に対し、助成金を交付することにより、骨髄等移植及びドナー登録の推進を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)			
	助成金による支援により、骨髄バンクのドナー登録者が増加する。	骨髄・末梢血幹細胞の提供が完了し、他の補助金等の交付を受けていない方による助成金の申請が増える。	骨髄バンクドナー支援事業に関する周知・啓発を行う。			
指標設定	指標説明	市内における骨髄バンクのドナー登録者数	ドナー支援事業申請者数	事業に関する各種啓発冊子等の配布冊数		
		単位 人	単位 人	単位 冊		
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標		
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5		
	実績	1,180 1,250 1,325 1,400	5 5 5 5	500 300 300 300		
達成度	96%		100%		340%	

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.04
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,196	393	312		
	会計年度任用職員	324	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,520	393	312		
	物件費計	361	350	770	1,050	73.3%
	歳出計	1,881	743	1,082		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	361	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	361	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	350	770	1,050	

5. 総括的分析

総括的分析	ドナーに対し、5件の助成金を交付することができた。また、うち1件についてはドナーが勤務する事業所に対しても助成金の交付を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	庁内及び関係各所へのチラシの配付等により周知に努める。

事務事業名称	休日歯科急病診療所補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名	8-1.医療体制の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1987(S62)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市休日歯科急病診療所運営補助金交付要綱				
関係補助金名称	枚方市休日歯科急病診療所運営補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	救急患者			
	サブターゲット	枚方市歯科医師会			
	ターゲットが抱える課題	日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合、一般の歯医者では診療を行っていないため治療が受けられない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合でも、応急的治療を受けることができる。				
事業概要	本市の休日における歯科急病診療需要に応えるため、歯科医師会が開設している休日歯科急病診療所を補助する。 ・休日歯科急病診療所は、歯科医師会の補助事業として、歯科急病患者の応急的治療を目的に、日曜日・祝日・年末年始に保健センター内において開設している。 ・診療時間は午前10時～正午までと午後1時30分～午後5時まで。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																			
	市民が安心して適切な医療が受けられるまちにつながる。	日曜日・祝日・年末年始に歯科急病を発症した場合でも、応急的治療を受けることができる。	枚方市休日歯科急病診療所運営補助金の交付により休日歯科急病診療所が開設される。																			
指標設定	指標説明	患者の受け入れ率 【算出式: 受け入れ件数 / 患者数 × 100】	受診者数	年間診察日数																		
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																		
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> </table>	単位	%	R2	R3	R4	R5	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> </table>	単位	人	R2	R3	R4	R5	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>日</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> </table>	単位	日	R2	R3	R4	R5
	単位	%																				
	R2	R3																				
R4	R5																					
単位	人																					
R2	R3																					
R4	R5																					
単位	日																					
R2	R3																					
R4	R5																					
目標 (見込み)	100	100	100	100	750	750	750	750	72	72	72	73										
実績	100	100	100		715	722	680		72	72	72											
達成度	100%				91%				100%													

3. 人員体制

	(人)
	R4実績
正職員	0.08
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,994	2,121	625		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,994	2,121	625		
	物件費計	11,579	38,668	19,184	20,690	92.7%
	歳出計	13,573	40,789	19,809		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	11,579	38,668	19,184	20,690	

5. 総括的分析

総括的分析	受診者数は見込みを下回る結果であったものの、日曜・祝日・年末年始すべて診療体制を整えており、休日の歯科急病医療体制を確保することで、救急で来院した患者に対して適切な医療を提供することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も継続して、実施する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	福祉サービス利用援助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1999(H11)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市福祉サービス利用援助事業補助金交付要項				
関係補助金名称	枚方市福祉サービス利用援助事業補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分なため、支援を必要とする人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	判断能力が不十分なため、安定した生活を送ることが困難			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域で安定した生活を送ることができ、権利が擁護される				
事業概要	平成12年6月の社会福祉法改正により第二種社会福祉事業として位置づけられる。認知症、知的障害、精神障害などにより、判断能力が不十分な人の権利擁護を目的に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行うもので、実施主体である社会福祉協議会を支援している。 実施主体である社会福祉協議会の人員体制等により、現状では利用契約者数を増加させることが困難であり、同サービスを利用したくてもできない人(=待機者)の増加が課題となっている。 利用希望者が同サービスを円滑に利用でき、住み慣れた地域で安定した生活を送ることができるよう、社会福祉協議会への補助を増額することで、人員体制を整備し、利用契約者数の増加及び待機者の減少を図る必要がある。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	対象者に対して経済生活支援サービス(財産保全、金銭管理)が行われ、対象者の在宅生活の安定と自立生活が図られる。				アウトプット (活動結果)	福祉サービス利用援助事業の利用希望者と利用契約を結ぶ。				インプット (活動)	枚方市福祉サービス利用援助事業補助金を交付する。			
	指標説明	利用者への生活支援員による訪問件数と手続き代行件数の合計				年度末時点の利用者契約者数				交付金額					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	8,058	8,540	9,150	10,492	130	140	150	172	14,406	15,131	16,729	15,474		
	実績	7,638	7,538	7,521		133	140	139		12,993	12,211	16,697			
達成度	82%				93%				100%						

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.05
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	1,100	391		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	1,100	391		
	物件費計	12,993	12,211	16,697	16,729	99.8%
	歳出計	12,993	13,311	17,088		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	12,993	12,211	16,697	16,729	

5. 総括的分析

総括的分析	制度を必要する人が埋もれることなく制度を利用できるよう適切なサービス提供を行うとともに、ひらかた権利擁護成年後見センターと連携し、判断能力の低下が進んだ利用者に対して成年後見制度へのスムーズな移行を進めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、判断能力が十分でない人の権利を擁護し、自立した地域生活を送れるようサービスを提供する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 275

事務事業名称	保護司会運営補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業		
事業期間	2009(H21)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称	枚方市保護司会運営事務補助金			サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	事務局を置くことによって充実した活動を行える保護司					
	サブターゲット	<ul style="list-style-type: none"> ・罪を犯した人 ・罪を犯した人の更生や、非行の防止を援助することにより地域で安心して暮らせる市民全体 					
	ターゲットが抱える課題	保護司の多岐にわたる職務を支援する事務局としての立場が必要。					
	ターゲットが抱える課題	更生援助や非行の防止のためには、保護司だけでなく各更生保護関係組織(更生保護女性会・BBS会・協力雇用主会等)とも密に連携する必要があり、各構成団体を繋ぐ役割を担う事務局としての立場が必要。					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務局が機能することで、関係組織との協力体制がいっそう円滑に行われるなど保護司会活動が推進され、市の更生保護が推進される。						
事業概要	「社会を明るくする運動」の中心的存在でもある保護司会の運営にかかる事務を円滑に遂行できるよう、枚方市社会福祉協議会を支援する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	保護司会の運営にかかる事務及び社会を明るくする運動の事務が円滑に実施できる。				アウトプット (活動結果)	枚方市社会福祉協議会に事務局が設置される。				インプット (活動)	枚方市保護司会運営事務補助金を交付する。			
	指標説明	保護司会活動数(定例会、校区懇談会の開催回数)				保護司の人数(枚方地区のみ)				補助金の交付金額					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	12	12	12	12	93	93	93	93	8,816	8,816	8,816	8,816		
	実績	7	7	9		87	86	82		8,816	8,666	8,594			
	達成度	75%				88%				103%					

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.12
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	479	393	937		
	会計年度任用職員	324	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	803	393	937		
物件費計	8,626	8,527	8,376	8,594	97.5%	
歳出計	9,429	8,920	9,313			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	600	600	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	600	600	
一般財源（物件費に充当されるもの）	8,626	8,527	7,776	7,994		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響でアウトカム指標は目標に届かなかったものの、前年度よりは微増した。また、アウトプットにおいては、目標指数を達成することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、保護司が更正保護活動を円滑に行うために支援するとともに、枚方市社会福祉協議会が事務を円滑に遂行できるよう補助する。

事務事業名称	民生委員児童委員協議会事務補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2003(H15)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金交付要綱				
関係補助金名称	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	拠点・事務局があることによって充実した活動を行える民生委員・児童委員			
	サブターゲット	民生委員・児童委員の活動が充実することで、市民全体が地域で安心して暮らせる。			
	ターゲットが抱える課題	民生委員・児童委員の多岐にわたる活動にあたり、事務的な支援が必要。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務局が設置されることで、民生委員・児童委員の活動が円滑に推進され、市民の福祉が向上する。				
事業概要	民生委員児童委員協議会の事務局事務を行う社会福祉協議会を支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	民生委員・児童委員の活動が円滑に推進され、市民の福祉が向上する。				民生委員児童委員協議会事務局が設置される。				民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金を交付する。				
指標設定	指標説明	民生委員・児童委員の延べ活動件数				役員会・校区委員長会 開催回数				民生委員委嘱者数(3月31日時点)			
		単位		件	単位		回	単位		人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	80,000	80,000	80,000	80,000	10	10	10	10	465	465	465	465
達成度	13%				170%				98%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.16
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,675	786	1,250		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,675	786	1,250		
	物件費計	19,604	19,037	18,816	19,022	98.9%
歳出計		21,279	19,823	20,066		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		19,604	19,037	18,816	19,022	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったことに伴い、役員会・校区委員長会については開催回数が増加した。しかし、高齢者等の感染症に係る配慮が必要な市民との対面での対応も多い民生委員の活動については、新型コロナウイルス感染症が及ぼす影響は依然として大きく、活動件数は目標値には至らなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、枚方市民生委員児童委員協議会の事務局を担う枚方市社会福祉協議会に対する補助を通じて、社会福祉の増進を図る。

事務事業名称	ハンセン病問題解決に係る啓発事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2009(H21)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	ハンセン病問題の解決の促進に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市民			
	サブターゲット	本市職員			
	ターゲットが抱える課題	ハンセン病に対する誤解や偏見などが残っており、正しい知識を持ち合わせていない市民への啓発			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民や本市職員がハンセン病問題について深く理解し、偏見と差別のない社会が実現することで、ハンセン病回復者等が地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるようになる。				
事業概要	ハンセン病回復者等が地域社会から孤立することなく、良好かつ平穏な生活を営むことができるような社会の構築のため、本市職員及び市民の人権意識の向上を図る。 ハンセン病回復者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、市民等を対象とした講演会及び映画会の開催、ちらし・リーフレット等の配布により、ハンセン病問題に関する啓発を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	市民等の人権意識の向上が図られる。				アウトプット (活動結果)	イベント等に市民等が参加する。				インプット (活動)	講演会及び映画会などの啓発事業を実施する。			
	指標説明	イベント等への参加を通して人権意識の向上につながった人の割合 【算出式:啓発事業来場者アンケートで、「人権意識が向上した」と回答した人の数/回収数】				イベント等の参加者数				啓発事業の実施回数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	80	80	80	80	200	200	200	200	1	1	1	1		
	実績	67.74	75	88.89		224	191	536		1	1	1			
達成度	111%				268%				100%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.12
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,834	1,257	937		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,834	1,257	937		
	物件費計	0	10	0	639	0.0%
	歳出計	1,834	1,267	937		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	10	0	639	

5. 総括的分析

総括的分析	「ハンセン病を正しく理解しましょう」をテーマにホームページで周知・啓発を実施した。 啓発を目的に作成した市民向けリーフレットをホームページや関係課の窓口に設置し市民に配布した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、啓発を行い、本市職員及び市民の人権意識の向上を図る。

事務事業名称	ひらかた権利擁護成年後見センター設置運営事業										
測定年度	2022(R4)年度		部	健康福祉部			課	健康福祉政策課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	11.すべての人がお互いの人権を尊重しあうまち									
	実行計画名	権利擁護の推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R3年度(2021年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	成年後見制度の利用の促進に関する法律				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市社会福祉審議会				
事業対象	メインターゲット	認知症、精神障害、知的障害などにより判断能力が不十分な市民			
	サブターゲット	メインターゲットの家族、支援者			
	ターゲットが抱える課題	自身で契約行為や金銭管理ができない。			
	ターゲットが抱える課題	制度についてわからないことが多い。どこに相談してよいかわからない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	権利と利益を守り、誰もが自分らしく暮らすことができる				
事業概要	<p>令和2年度に策定する「枚方市成年後見制度利用促進基本計画」に基づき、支援を必要としている方に適切な支援が届くよう、権利擁護に係る相談窓口を集約化・明確化し、市民や支援関係者等が安心して相談できる体制を整備するにあたり、その中核的な役割を担う機関として、「(仮称)枚方市権利擁護(成年後見)支援センター」を委託により設置し、運営を行う。</p> <p><委託業務内容></p> <p>①権利擁護に関する総合相談窓口 成年後見制度を含む権利擁護に関する相談業務のほか、成年後見制度の利用が必要な人には、申立て手続き等の支援を行う。また、相談内容に応じた関係機関へのつなぎを行う。</p> <p>②成年後見制度に係る周知・啓発 市民や支援関係者を対象とした啓発事業(講演会・研修会等)のほか、施設や事業所等からの要望に応じて出張説明会を行う。成年後見制度に関する市独自のパンフレットを作成し、制度の周知啓発を行う。</p> <p>③地域連携ネットワークの構築、運営 専門職団体や地域包括支援センター、基幹相談支援センター、民生委員、地域等の関係機関とのネットワークを構築し、定期的な協議会や必要に応じた部会を開催することで、情報交換、制度の課題の整理、対象者のケース検討等を行う。</p> <p>④成年後見制度の利用促進 受任者調整(マッチング)等の支援、市民後見人等の担い手の育成、日常生活自立支援事業等関連制度からのスムーズな移行等、成年後見制度の利用促進に向けた取組を行う。</p> <p>⑤後見人の支援 市民後見人、親族後見人、後見活動を行う法人に対して、相談対応や情報提供等の活動支援を行う。</p> <p>本事業は、市民の認知度の高まりと比例し、相談・支援件数の増加が見込まれている。また、市民後見人について、令和2年度までは受任実績がなかったが、令和3年度に従来の想定を上回る受任(3件)があり、業務量が増加しているとともに、令和4年度についても3件程度の新規受任を予定している。あわせて、福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)の課題である待機者の解消に向けて、成年後見制度への円滑な移行業務を本格的に実施することや専門職の訪問相談も新たに開始することから、さらなる業務量の増加が見込まれるため、人員体制の充実を図る必要がある。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
		課題の解決により本人の権利と利益が守られ、安心して自分らしい生活を送ることができる。	相談内容に応じた支援を行う。	ひらかた権利擁護成年後見センターを設置し、権利擁護に関する相談を受ける。	
指標設定	指標説明	支援した件数のうち、課題解決に向かった割合【解決に向かった件数/延べ支援件数】	延べ支援件数	延べ相談件数(専門相談除く)	
		単位 %	単位 件	単位 件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	
		目標(見込み)	- 100 100 100	- 108 192 192	- 270 480 480
	実績	- 100 100	- 166 254	- 470 594	
	達成度	100%			
		132%			
		124%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.42
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	-	5,657	3,281		
	会計年度任用職員	-	0	0		
	特別職非常勤	-	0	0		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	-	5,657	3,281		
	物件費計	-	36,474	43,206	43,454	99.4%
	歳出計	-	42,131	46,487		
歳入	国庫支出金	-	300	885	1,135	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	-	195	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	-	0	0	0	
	市債	-	0	0	0	
	その他	-	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	-	495	885	1,135	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	-	35,979	42,321	42,319	

5. 総括的分析

総括的分析	成年後見制度やひらかた権利擁護成年後見センターの周知活動を継続して実施したことなどにより、想定していた以上の相談件数となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	支援を必要としている人に適切な支援が届くよう、引き続き取り組みを進めていく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 298

事務事業名称	遺家族援護事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		13.平和の大切さを後世に伝えるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明	年度	～	年度まで	
根拠法令等	①戦没者及び戦傷病者の妻に対する特別給付金支給法 ②戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法 等				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の請求をしたいという意向を持つ市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	先の大戦で公務等のために国に殉じた元軍人、軍属および準軍属に対して、弔慰の意を表すことを目的とした国からの弔慰金を受け取りたい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内すべての弔慰金受給権者が申請を行い、弔慰金を受け取る。				
事業概要	特別弔慰金、特別給付金等の請求受理・送付業務・戦没者慰霊事業等の連絡業務・その他、援護関係PR業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
			弔慰金受給権者が弔慰金を受け取る。				弔慰金受給権者からの申請を受け付ける。			
指標設定	指標説明		特別弔慰金・特別給付金交付件数				特別弔慰金・特別給付金の申請件数			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績		55	504	872	431	1,091	257	554	2
	達成度		26%				73%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.45
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.36
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,147	4,478	3,515		
	会計年度任用職員	1,972	1,005	847		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,119	5,483	4,362		
	物件費計	58	170	91	260	35.0%
	歳出計	6,177	5,653	4,453		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	58	170	91	180	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	58	170	91	180	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	80	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度については概ね想定どおりであった。
-------	-------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も円滑な申請受付及び国債交付に努める。

事務事業名称	献血推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	～	年度まで	
根拠法令等	枚方市献血推進事業補助金交付要項					
関係補助金名称	枚方市献血推進事業補助金		サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	市民全般(血液を必要とする市民や、献血者数が減少していることから、献血経験がない・献血思想がない市民に対しても献血推進活動を行っている)				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	血液を必要としているが、安心して輸血を受けられる体制が整っておらず、血液が不足している。 献血についての知識や経験がないことから、献血者数が低下している。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業が継続されることで、年間を通しての継続的な献血量が確保される。					
事業概要	枚方市社会福祉協議会が献血推進協議会を設置し、事業計画に基づく献血事業を毎年展開。京阪枚方市駅、樟葉駅前での街頭キャンペーンをはじめ、校区福祉委員会との連携あるいは高校、大学の学域、事業所、病院、市役所等の職域などの関係機関・団体にも協力を依頼するなど、献血活動を推進。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	年間を通しての継続的な献血量が確保される。				アウトプット (活動結果)	献血推進協議会の事業計画に基づく献血事業を実施する。				インプット (活動)	枚方市献血推進事業補助金を交付する。			
	指標説明	採血者数				地域における啓発取り組み回数				献血推進協議会 構成団体数					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	単位	件	単位	回	単位	団体	単位	団体	単位	団体	単位	団体		
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	実績	26,000	26,000	26,000	26,000	8	8	8	8	16	15	15	15		
	達成度	20,427	20,089	19,836		2	4	4		16	15	15			
		76%				50%				100%					

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.05
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	399	864	391		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	399	864	391		
	物件費計	5,652	5,554	5,475	5,609	97.6%
	歳出計	6,051	6,418	5,866		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,652	5,554	5,475	5,609	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、啓発活動については一部中止となり、アウトプットについては目標を下回る値となっている。さらに、枚方市駅周辺の開発等の影響により、献血ルームでの献血者数が例年よりも減少したことから、アウトカムについても目標を下回る値となっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	駅前での街頭キャンペーンなどの啓発活動を行うとともに、各関係機関の協力を得ながら、引き続き献血活動を推進していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 307

事務事業名称	福祉活動・福祉団体等補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	～	年度まで	
根拠法令等	枚方市福祉活動・福祉団体等補助金交付要項					
関係補助金名称	枚方市福祉活動・福祉団体等補助金		サンセット	2023(R5)年度	～	2025(R7)年度
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方市福祉団体連絡会に加盟する福祉団体				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	遺族会や身体障害者の会など、当事者団体としての活動するにあたり、財源が不足している				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	当事者同士の情報交換や交流などをすることができ福祉活動が推進される					
事業概要	地域福祉活動促進を図るため、福祉団体等を支援する。 ①福祉団体助成金 ②福祉団体連絡会助成 ③福祉活動助成金 ④ひとり暮らし老人会運営助成金					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		当事者同士の情報交換や交流などをすることができ福祉活動が推進される。				各種福祉団体の円滑な組織運営の支援が図られる。				枚方市福祉活動・福祉団体等補助金を交付する。			
指標設定	指標説明	障害者週間啓発キャンペーン 午前の部、午後の部参加人数の合計				活動支援している団体数				枚方市福祉活動・福祉団体等補助金交付額			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	191	170	170	170	11	10	10	10	5,804	5,752	5,600	5,600
	実績	0	103	119		11	10	10		5,402	5,444	5,500	
達成度	70%				100%				102%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	160	1,493	3,125		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	160	1,493	3,125		
	物件費計	5,402	5,444	5,500	5,522	99.6%
	歳出計	5,562	6,937	8,625		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	5,402	5,444	5,500	5,522	

5. 総括的分析

総括的分析	ひとり暮らし高齢者の会や障害者(児)団体等、各種福祉団体が円滑な組織運営ができるように、事業を適正に執行した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	事業の見直しを踏まえ、福祉団体に意見聴取を行い、今後の事業にあり方について引き続き検討する。

事務事業名称	日本赤十字社事務補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2003(H15)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金交付要綱				
関係補助金名称	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金事務補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	拠点・事務局があることによって充実した活動を行える日本赤十字奉仕団			
	サブターゲット	人間の命と健康、尊厳を守る人道の実現をめざす赤十字運動をはじめ、災害救護、救急法普及や健康生活支援などの各種事業の展開が図られることで、市民全体が地域で安心して暮らせる。			
	ターゲットが抱える課題	日本赤十字奉仕団の活動にあたり事務的な支援が必要。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	奉仕団の活動が円滑に推進され、赤十字運動が広く展開されることで、市民の福祉が向上する。				
事業概要	日本赤十字社法第7条の規定に基づく枚方市地区の赤十字活動にかかる事務を行う社会福祉協議会を支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	奉仕団の活動が円滑に推進され、赤十字運動が広く展開されることで、市民の福祉が向上する。				アウトプット (活動結果)	日本赤十字奉仕団の活動にあたり事務的な支援が行われる。				インプット (活動)	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金を交付する。			
	指標説明	奉仕団による延べ活動件数(地域への啓発活動、街頭募金、炊き出しなど)				部会会議開催回数及び管内研修実施回数の合計				交付金額(日本赤十字社事務補助分)					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	13	13	13	13	14	14	14	14	9,533	9,533	9,533	9,533		
	実績	0	3	3		10	15	22		9,704	9,508	9,303			
達成度	23%				157%				102%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.04
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	239	629	312		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	239	629	312		
	物件費計	9,704	9,508	9,303	9,379	99.2%
歳出計		9,943	10,137	9,615		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		9,704	9,508	9,303	9,379	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染対策を講じたうえで、各部会や研修については実施回数が増加したが、街頭等での活動については、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として大きく、実施回数は目標値に至らなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、枚方市社会福祉協議会に対する補助を通じて、社会福祉の増進を図る。

事務事業名称	共同募金会事務補助事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2003(H15)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金交付要綱				
関係補助金名称	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	拠点・事務局があることによって充実した活動を行える共同募金会			
	サブターゲット	募金活動によって集められた募金が、市内のボランティア活動などの助成に充てられることで、市民が地域で安心して暮らせる。			
	ターゲットが抱える課題	共同募金会各事業の多岐にわたる職務を支援する事務局が必要			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	共同募金会の活動が円滑に推進され、募金活動によって集められた募金が、市内のボランティア活動などの助成に充てられることで、市民の福祉が向上する。				
事業概要	社会福祉法にも位置づけられる「共同募金」について、大阪府共同募金会の定款第20条の規定に基づく本市を1地区とする活動にかかる事務を行う社会福祉協議会を支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	募金活動によって集められた募金が、市内のボランティア活動などの助成に充てられることで、市民の福祉が向上する。				アウトプット (活動結果)	共同募金会の活動が円滑に推進される。				インプット (活動)	民生委員協議会・日本赤十字社・共同募金会事務補助金を交付する。			
	指標説明	助成事業数				共同募金の総額(赤い羽根共同募金と地域歳末たすけあい募金の合計)				市内募金箱設置箇所数(市所管施設、社会福祉法人、市内企業等の合計)					
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	13	12	12	12	19,383	19,383	19,383	19,383	49	49	49	49		
	実績	12	11	11		17,409	18,203	16,943		48	53	55			
達成度	92%				87%				112%						

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.03
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	319	393	234		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	319	393	234		
	物件費計	6,118	5,992	5,855	5,910	99.1%
	歳出計	6,437	6,385	6,089		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	6,118	5,992	5,855	5,910	

5. 総括的分析

総括的分析	補助金の交付により、本市における共同募金会の活動が円滑に行われる環境整備に寄与した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、枚方市社会福祉協議会に対する補助を通じて、社会福祉の増進を図る。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 589

事務事業名称	ちびっこ広場管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち								
	施策目標		24.まちなかのみどりを育てるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市ちびっこ広場設置及び管理要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ちびっこ広場と小規模公園を利用する幼児・児童や地域住民			
	サブターゲット	ちびっこ広場の土地所有者(市との賃貸借契約により、固定資産税が免除されているため) 集会所付き小規模公園を利用する自治会(小規模公園内に行政財産の目的外使用として自治会館を設置しているため)			
	ターゲットが抱える課題	広場を利用しており、広場に対する要望があるが、どこに相談していいかわからない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	底地管理している民地のちびっこ広場と集会所付き小規模公園を適正に管理し、幼児・児童の安全で楽しい遊び場の提供と、地域住民交流の支援を図る。				
事業概要	「ちびっこ広場(民地のみ)」と「集会所付小規模公園」について、地元住民や自治会等との調整を図りながら、要望等に基づく固定資産税非課税手続き、行政財産の目的外使用許可、安全確保のためのフェンスの改修等を行うもの。 なお、遊具等の維持管理については公園所管部署が行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
		申請に対して許可を行う。				民地の土地所有者と使用賃貸借契約を結んでいるちびっこ広場の契約継続および固定資産税非課税措置のための申請と、集会所付き小規模公園の行政財産目的外使用許可申請を受け付ける。							
指標設定	指標説明	固定資産税非課税対象数と行政財産目的外使用許可件数の合計				ちびっこ広場の固定資産税非課税措置のための申請数と、集会所付き小規模公園の行政財産目的外使用許可申請数の合計							
	指標種類					減少することが良いとされる指標							
	指標数値					単位	件	単位	件				
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					22	22	22	22	22	22	22	22
達成度					100%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.04
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	1,675	471	312		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,675	471	312		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	1,675	471	312		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	ちびっこ広場や集会所付き小規模公園について、意見や要望は0件であり、固定資産税非課税措置のための申請および行政財産目的外使用許可の申請を受け付け適切に管理した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正管理に努める。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 701

事務事業名称	福祉オンブズパーソン事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2000(H12)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市福祉保健サービスに係る苦情の処理に関する条例、枚方市福祉保健サービスに係る苦情の処理に関する条例施行規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市の福祉制度について苦情のある市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	自らが受けている若しくは受けたい福祉制度について不満があるが、中立的な立場で意見を聞いてもらえるところがない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	納得して福祉サービスが利用できる環境の構築。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市が提供する福祉保健サービスについて、第三者機関である福祉オンブズパーソンが公平かつ中立な立場で苦情を調査し、必要な場合は市に対して意見表明を行う。 市はその意見などを尊重して苦情に対応する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民が納得して福祉サービスが利用できる。				市の福祉制度について苦情のある市民が相談を行う。				相談を受ける体制を構築する。			
指標設定	指標説明	相談件数のうち調査・審査を行った割合 【算出式: 調査・審査を行った件数 / 相談件数 × 100】				相談件数				福祉オンブズパーソンの人数			
		単位		%		単位		件		単位		人	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	100	100	100	100	2	2	2	2	2	2	2
	実績	0	50	0		0	2	1		2	2	2	
	達成度	0%				150%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.06
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	1.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	877	3,300	469		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	120	60		
	人件費計	877	3,420	529		
物件費計	0	0	0	52	0.0%	
歳出計	877	3,420	529			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	52		

5. 総括的分析

総括的分析	市民からの福祉保健サービスに関する苦情および相談を1件受け、オンブズパーソンとの面談を実施し、調査・審査の必要性について精査を行った。 また、市の福祉制度について苦情がある市民の相談に対応できるよう、引き続き、福祉オンブズパーソンの人員を確保することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も継続して実施する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 702

事務事業名称	社会福祉審議会(本審)運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	社会福祉審議会(本審)				
事業対象	メインターゲット	審議会の開催により、社会福祉が推進され、福祉が向上する市民			
	サブターゲット	【審議会委員への報酬支払い事務】【審議会員への源泉徴収票作成事務】【審議会委員の委嘱事務】…課職員			
	ターゲットが抱える課題	円滑に事務を進める必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	円滑に事務を進められる				
事業概要	<p>・学識経験者、社会福祉や児童福祉の専門家、市民団体からの推薦者等で構成される「枚方市社会福祉審議会」を開催する。・審議会の委員の定数は19人以内で、任期は3年。(委員を増員する場合その他特別の事情がある場合にあつては、3年以内)なお、各施福祉分野について、専門的に調査審議するための専門分科会及び部会を設置。</p>				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)			アウトプット (活動結果)			インプット (活動)			
指標設定	指標説明										
	指標種類										
	指標数値	目標 (見込み)									
		実績									
	達成度										

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.47
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	68.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	1,100	3,672		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	3,316	1,729	1,777		
	人件費計	3,316	2,829	5,449		
物件費計	0	0	12	0		
歳出計	3,316	2,829	5,461			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	12	0		

5. 総括的分析

総括的分析	前年度に引き続き、通常の参集型に加え、オンラインによる会議の開催も可能となり、会議の方式が広がった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も継続して、担当課において各種調査審議及び事業の進捗管理を適切に行うため、本審及び各分科会を開催する。

事務事業名称	地域福祉計画推進事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		29.市民との情報の共有化を進めます								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市社会福祉審議会条例、枚方市社会福祉審議会規則				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	計画の推進や、審議会の開催により、市民、事業者など、地域福祉に関係する方にとって、地域福祉が向上することとなる。			
	サブターゲット	計画の進行管理の一環として行う「地域福祉セミナー」の参加者である、主に地域で福祉活動を行う住民や関係者など			
	ターゲットが抱える課題	だれもが住みなれた地域で安心して暮らしていける地域共生社会の体制整備が不十分			
	ターゲットが抱える課題	地域福祉活動に関する情報提供や共有の場がほしい			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課題を計画的・総合的に解決していくため地域福祉計画を策定し、計画に基づき施策等を進めていき、地域福祉が推進される 住民の間で情報が共有され、地域福祉活動がいつそう盛んになる				
事業概要	学識経験者、地域福祉の専門家、市民団体からの推薦者等で構成される「枚方市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」を開催する。分科会では主に社会福祉法第107条に基づく市町村地域福祉計画の策定や進行管理等を審議する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						地域福祉が推進される。				地域福祉計画に基づき施策等を実施する。			
指標設定	指標説明					地域福祉計画冊子配布数				審議会開催回数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					400	100	50	50	1	1	1	1
	達成度					0%				100%			

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.42
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,509	2,043	3,281		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,509	2,043	3,281		
	物件費計	0	33	30	50	60.0%
	歳出計	3,509	2,076	3,311		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	33	30	50	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度は関係部課庁内会議及び地域福祉専門分科会を開催し、計画の中間報告および進捗管理を行った。 また、地域福祉セミナーを新たな試みとして市民参加型で実施し、広く地域福祉について周知することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	令和6年度策定の「枚方市地域福祉計画(第5期)」に向けて、市民意識調査を実施する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 722

事務事業名称	民生委員・児童委員大会開催事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市の民生委員・児童委員、主任児童委員(民生委員は原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満)			
	サブターゲット	民生委員の資質や意欲が向上することで、市民にとっても地域の福祉が向上する。			
	ターゲットが抱える課題	長期間の活動の中で、活動に対する意欲継続。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	日ごろの活動に対し、勤続表彰等を受けることで活動の意欲を高められる。				
事業概要	枚方市と枚方市民生委員児童委員協議会との共催により「枚方市民生委員・児童委員大会」を開催する。第1部の表彰式では厚生労働大臣特別表彰の伝達、社会福祉功労者厚生労働大臣表彰の伝達及び民生委員・児童委員としての勤続年数が10年、15年、20年、25年勤続者に対する市長表彰を、第2部では民生委員・児童委員の研修を行い、民生委員・児童委員の資質及び意欲の向上を図る。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		枚方市民生委員・児童委員が日ごろの活動に対し、勤続表彰等を受けることで活動の意欲が高まる。				枚方市民生委員・児童委員が大会に参加する。				「枚方市民生委員・児童委員大会」を開催する。			
指標設定	指標説明	表彰の基準となる任期10年以上の民生委員・児童委員の割合(表彰日時点)				参加人数				開催回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	19.80	19.80	19.80	19.80	441	441	441	441	1	1	1	1
	実績	19.87	27.41	28.19		67	48	405		1	1	1	
	達成度	142%				92%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.37
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	2,791	1,257	2,890		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,791	1,257	2,890		
	物件費計	203	230	394	620	63.5%
	歳出計	2,994	1,487	3,284		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	203	230	394	620	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったことに伴い、枚方市民生委員・児童委員大会に参加した人数が昨年度より大幅に増加し、民生委員・児童委員の資質及び意欲の向上につながった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	民生委員・児童委員活動の強化推進に資するため、引き続き、同大会の開催を通じて民生委員・児童委員の資質及び意欲の向上を図る。

事務事業実績測定調査

R4調書番号 723

事務事業名称	民生委員研修事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市の民生委員・児童委員、主任児童委員(民生委員は原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満)			
	サブターゲット	民生委員の資質や意欲が向上することで、市民にとっても地域の福祉が向上する。			
	ターゲットが抱える課題	福祉制度に関する知識や技術などを習得する場が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	民生委員としての知識や技術などを習得することで、資質が向上する。				
事業概要	枚方市民生委員児童委員協議会に委託し、民生委員・児童委員及び主任児童委員に対して、福祉施設の視察や福祉制度についての勉強会など各種研修を実施する。中核市移行に伴い、大阪府から権限の委譲を受け、民生委員法第18条に基づき、民生委員・児童委員及び主任児童委員に対して、社会福祉法人大阪府社会福祉協議会が実施する指導訓練に係る研修を実施している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)																	
	民生委員としての知識や技術などを習得し、資質が向上する。	民生委員・児童委員及び主任児童委員が研修に参加する。	民生委員・児童委員及び主任児童委員の研修の機会を設ける。																	
指標設定	研修参加者における、研修に対する満足度 【算出式:研修後、アンケートを実施し、参加者のうち、「満足」「やや満足」と回答した割合】	のべ研修参加人数	民生委員・児童委員及び主任児童委員の研修の実施回数																	
	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> <th>単位</th> <th>人</th> <th>単位</th> <th>回</th> </tr> <tr> <td>増加することが良いとされる指標</td> <td></td> <td>増加することが良いとされる指標</td> <td></td> <td>増加することが良いとされる指標</td> <td></td> </tr> </table>	単位	%	単位	人	単位	回	増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標								
	単位	%	単位	人	単位	回														
	増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標															
指標種類	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5																	
<table border="1"> <tr> <th>目標 (見込み)</th> <th>実績</th> <th>達成度</th> </tr> <tr> <td>80</td> <td>94.87</td> <td>122%</td> </tr> </table>	目標 (見込み)	実績	達成度	80	94.87	122%	<table border="1"> <tr> <th>目標 (見込み)</th> <th>実績</th> <th>達成度</th> </tr> <tr> <td>3,000</td> <td>1,393</td> <td>91%</td> </tr> </table>	目標 (見込み)	実績	達成度	3,000	1,393	91%	<table border="1"> <tr> <th>目標 (見込み)</th> <th>実績</th> <th>達成度</th> </tr> <tr> <td>120</td> <td>48</td> <td>74%</td> </tr> </table>	目標 (見込み)	実績	達成度	120	48	74%
目標 (見込み)	実績	達成度																		
80	94.87	122%																		
目標 (見込み)	実績	達成度																		
3,000	1,393	91%																		
目標 (見込み)	実績	達成度																		
120	48	74%																		

3. 人員体制

(人)

	R4実績
正職員	0.12
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	877	550	937		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	877	550	937		
	物件費計	769	585	3,399	4,565	74.5%
	歳出計	1,646	1,135	4,336		
歳入	国庫支出金	447	424	424	451	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	447	424	424	451	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	322	161	2,975	4,114	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったことや、対面での研修だけではなく、研修動画の配信といった方法も併用したことから、インプット及びアウトプットの数値は目標には至らなかったが、前年度と比較して大幅に増加した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	民生委員活動及び主任児童委員活動に必要とされる事項について、継続して研修を実施し民生委員・児童委員の資質の向上を図る。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 725

事務事業名称	民生委員推薦事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的的事业	区分	非選択的的事业
事業期間	不明	年度	~		年度まで
根拠法令等	民生委員法				
関係補助金名称		サンセット		~	
関係附属機関名称	社会福祉審議会民生委員審査専門分科会				
事業対象	メインターゲット	民生委員になりうる市民(民生委員は原則75歳未満、主任児童委員は原則55歳未満)			
	サブターゲット	各校区に民生委員が配置されることにより、安心して生活することができる市民 民生委員を推薦する、各校区の校区コミュニティ協議会や自治会			
	ターゲットが抱える課題	民生委員のなり手が不足している。候補者を探すのに苦慮している。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	全校区に定数通りの民生委員・児童委員が配置されている。				
事業概要	枚方市民生委員・児童委員定数条例に規定する定数に沿って、全民生委員・児童委員の任期が満了となる一斉改選(3年に一度)時には年2回、その他の年については欠員補充に伴い年3回、枚方市民生委員推薦会を開催して、民生委員・児童委員の候補者を厚生労働大臣に推薦する。平成26年4月からの中核市移行に伴って大阪府から権限が委譲された事務で、大阪府が一部負担していた民生委員活動費負担金も、中核市移行後は市が全額負担している(地方交付税措置あり)。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		地域より推薦のあった民生委員・児童委員の候補者について適否を審議し、適任であると判断した候補者を厚生労働大臣に推薦し、民生委員の充足に努める。	改選等の時期に枚方市民生委員推薦会を開催する。
指標設定	指標説明	民生委員の充足率(翌年度4月1日時点) 【算出式:委嘱者数/定数×100】	枚方市民生委員推薦会開催数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 回
	目標 (見込み)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	91 91 91 92	3 3 2 3
達成度	87.71 89.91 86.42	3 3 2	
	95%		100%

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.74
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	12.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,546	5,343	5,781		
	会計年度任用職員	606	0	82		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	219	200	143		
	人件費計	5,371	5,543	6,006		
	物件費計	36,086	37,069	40,180	43,904	91.5%
	歳出計	41,457	42,612	46,186		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	36,086	37,069	40,180	43,904	

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成度についてはおおむね想定通りであったが、昨年度より民生委員・児童委員の充足率は低下しているため、今後更なる充足率の増加に向けた取り組みを検討する必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、民生委員・児童委員のなり手不足解消に向けて、民生委員を推薦する各校区の校区コミュニティ協議会や自治会への民生委員制度の説明を随時行うほか、必要に応じて候補者への説明の同行等を行う。

事務事業名称	ひらかたポイント事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画名	計画推進2-1.市民活動の支援									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	健康・子育て・長寿など市が重点的に進める施策の対象者			
	サブターゲット	社会貢献活動に取り組む市内企業・各種公益活動団体等(市内協力店を含む)			
	ターゲットが抱える課題	健康増進や社会貢献活動等に対して無関心または一定の関心はあるが、契機がなく積極的な行動に至れていない。			
	ターゲットが抱える課題	社会貢献活動に取り組む市内企業・各種公益活動団体等が、周知やポイントのシステムを独自に構築するのは難しい。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ひらかたポイントシステム(情報発信、ポイント付与・使用・受取)の活用により、ターゲットが健康分野などの市事業等に興味を持ち積極的に行動している状況を形成し、ひいてはターゲットの健康増進や社会貢献活動等の推進に寄与している状態。				
事業概要	平成30年度から委託により事業を開始し、健康・子育て・高齢者・アンケート・ボランティア等の分野に関する市事業等に参画した市民に対してポイントを付与し、市内協力店でそのポイントを利用(貯める・使う)できる制度を構築し運用してきた(平成31年1月15日運用開始)。令和2年度にカード作成やカード読取端末のコスト負担が大きい非接触型ICカードを用いたシステムを改修し、令和3年4月からはQRコードを用いたスマホアプリとカードで運用している。また、健康分野を拡充し、市民の健康づくりに関する取り組みを「後押し」する一助として実施している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	ターゲットが市事業等に積極的に参画する中で、ひらかたポイントシステム(情報発信、ポイント付与・使用・受取)が利便性・多様性を備え、有益に活用されている。				アウトプット (活動結果)	ひらかたポイント制度の利用者が増える				インプット (活動)	ひらかたポイント協力店が増える			
	指標説明	ポイント利用率【算出式:累計利用ポイント/累計発行ポイント×100】				ひらかたポイント制度の利用者登録数				ひらかたポイント協力店数					
指標設定	単位	%				単位	人				単位	店舗			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	35	50	50	50	-	-	65,000	70,000	-	-	500	550		
実績	11.81	18.23	27.68		-	-	65,656		-	-	500				
達成度	55%				101%				100%						

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		ターゲットが市事業等に積極的に参画する中で、ひらかたポイントシステム(情報発信、ポイント付与・使用・受取)が利便性・多様性を備え、有益に活用されている。				ひらかたポイント制度の利用者が増える				ひらかたポイントシステムを活用する企業・公益活動団体等が増える			
指標設定②	指標説明	ポイント利用率【算出式:累計利用ポイント/累計発行ポイント×100】				ひらかたポイント制度の利用者登録数				ひらかたポイントシステムを活用する企業・公益活動団体等の数			
		単位		%		単位		人		単位		団体	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	35	50	50	50	-	-	65,000	70,000	-	-	25	30
	実績	11.81	18.23	27.68		-	-	65,656		-	-	22	
達成度	55%				101%				88%				
ロジックモデル③		ターゲットが市事業等に積極的に参画する中で、ひらかたポイントシステム(情報発信、ポイント付与・使用・受取)が利便性・多様性を備え、有益に活用されている。				付与事業への参加により、ひらかたポイントカード及びアプリの利用者が増える。				ひらかたポイントを付与する対象事業の拡充を進める。			
指標設定③	指標説明	ポイント利用率【算出式:累計利用ポイント/累計発行ポイント×100】				ひらかたポイントカード発行枚数(アプリダウンロード件数を含む)				ポイント付与事業数			
		単位		%		単位		枚		単位		事業	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	35	50	50	50	150,000	200,000	-	-	20	25	-	-
	実績	11.81	18.23	27.68		110,971	117,385	-	-	19	33	-	-
達成度	55%												
ロジックモデル④		ターゲットが市事業等に積極的に参画する中で、ひらかたポイントシステム(情報発信、ポイント付与・使用・受取)が利便性・多様性を備え、有益に活用されている。				ひらかたポイント協力店舗数				協力店舗登録への説明を行った店舗数(広報誌、WEB等での広報活動を除く)			
指標設定④	指標説明	ポイント利用率【算出式:累計利用ポイント/累計発行ポイント×100】				ひらかたポイント協力店舗数				協力店舗登録への説明を行った店舗数(広報誌、WEB等での広報活動を除く)			
		単位		%		単位		店舗		単位		店舗	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	35	50	50	50	300	400	-	-	500	500	-	-
	実績	11.81	18.23	27.68		320	454	-	-	982	1,659	-	-
達成度	55%												

ロジックモデル⑤		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		ポイント付与が検診受診等の健康増進等の行動促進の後押しとして寄与し、ひらかたポイント制度利用者が健康増進等の活動に取り組んでいる。	ポイント付与により、ひらかたポイント制度利用者の検診受診等の健康増進等の行動促進の後押しする。	ひらかたポイント制度利用者の検診受診等の健康増進等の行動促進の後押しするポイント付与事業を実施・充実する。
指標設定⑤	指標説明	健康行動取組者増加率 【算出式:(当該年度における健康増進に係る主な付与事業(1事業以上)参加者へのポイント付与人数/前年度における健康増進に係る主な付与事業(1事業以上)参加者へのポイント付与人数)-1]×100】	健康増進に係る主な付与事業(1事業以上)参加者へのポイント付与人数	健康増進に係る主なポイント付与事業数
		単位 %	単位 人	単位 事業
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)	- - 25 20	- - 25,000 30,000	- - 44 48
実績	- - 21.55	- - 25,092	- - 46	
達成度	86%			
	100%			
	105%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.15
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.41
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	10,766	10,764	8,984		
	会計年度任用職員	566	1,005	930		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,332	11,769	9,914		
	物件費計	58,404	27,475	36,906	37,120	99.4%
	歳出計	69,736	39,244	46,820		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
	一般財源(物件費に充当されるもの)	58,404	27,475	36,906	37,120	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年4月よりアプリとカードで運用している。ポイント利用率は目標を下回っているが改善している。健康行動取組者増加率は概ね目標を達成している。市民の健康づくりに関する取り組みを「後押し」する一助として実施するとともに、令和5年度以降の事業継続等について検討を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	ウォーキングやスポーツ活動などを通じた市民の健康づくりに向けて、幅広い世代がひらかたポイントを活用できる取り組みの推進を図るとともに、各種イベントへのブース出展や出前講座の開催など積極的に周知活動を行いひらボアプリ・健康ウォーキングアプリのスマホへの導入サポートを行う。公益活動団体等が取り組む健康への活動支援や健康経営を推進する企業等を後押しできるようひらかたポイントの活用を促す。また、事業評価を行い、令和6年度以降について検討を行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 865

事務事業名称	健康福祉政策課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	健康福祉部			課	健康福祉政策課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に行う。				
事業概要	市議会対応、部の予算・決算処理、事務事業・公約施策等の取りまとめなど福祉施策全般の調整、社会福祉審議会の運営に関する委員委嘱・報酬支払い、寄付金・募金等の受付、健康福祉部及び健康福祉政策課の照会回答取りまとめ、庶務事務など。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	2.27
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	22,968	18,464	17,733		
	会計年度任用職員	642	453	370		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	23,610	18,917	18,103		
	物件費計	83,467	24,758	275,194	283,639	97.0%
歳出計		107,077	43,675	293,297		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	62	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	128,252	18,071	27,061	28,975	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	68,226	18,071	27,061	28,975	
一般財源（物件費に充当されるもの）		15,241	6,687	248,133	254,664	

5. 総括的分析

総括的分析	庁内外との連絡調整、運営・庶務事務について、適正に執行した。 また、コロナ禍における原油価格・物価高騰等への対応として、医療機関及び薬局への支援金給付を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	継続して円滑に運営事務及び庶務事務を執行していく。